

Is the HAS-BLED score useful in predicting post-extraction bleeding in patients taking warfarin? A retrospective cohort study

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-11-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 片岡, 利之 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00023896

主論文の要旨

Is the HAS-BLED score useful in predicting post-extraction bleeding in patients taking warfarin? A retrospective cohort study

(HAS-BLED スコアはワルファリン内服患者の抜歯後出血を予測するのに有用か?)

東京女子医科大学歯科口腔外科学教室

(指導：安藤智博教授)

片岡利之

BMJ open 2016;6:e010471. doi:10.1136/bmjopen-2015-010471

【要 旨】

抗凝固療法患者の抜歯は抗凝固薬を維持量で行うことが推奨されている。

しかし、至適治療域に管理されている患者で抗凝固薬を維持量に抜歯をした際にも抜歯後出血をしばしば遭遇する。抜歯後出血リスクの高い症例を術前に選別することができれば、十分な準備のもと抜歯が行える。近年、抗凝固療法患者の出血性合併症のリスク指標にHAS-BLED scoreが用いられている。本研究では、抗凝固療法患者の抜歯後出血の予測にHAS-BLED scoreが有用であるか検討した。対象は2010年1月から2012年12月の間に当科で入院下に抗凝固療法および抗血小板薬を維持量で抜歯した症例のうち、抜歯当日朝の血液検査でPT-INR \leq 3.0の症例を対象とした。抜歯後出血の有無について調査し、抜歯後出血危険因子、HAS-BLED score、抗血小板薬の併用の有無が抜歯後出血に及ぼす影響について統計学的に検証した。

抜歯後出血は8%に発生していた。抜歯後出血は全例局所処置で止血可能であり、全身的止血処置が必要であった症例はなかった。HAS-BLED score 単独では抜歯後出血を予測するには十分ではなかった (AUC=0.548)。抗血小板薬を併用している症例では約3倍 (p=0.05, 単変量解析) 抜歯後出血のリスクが高かった。本研究は単施設の後ろ向き研究であり、外来患者の抜歯症例を含む大規模な前向きコホート研究が必要であると考えられる。